

令和4年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和 5年 3月 24日
市立札幌啓北商業高等学校

1 本年度の重点目標

- 1 思考力を高め、創造性を伸ばす学習態度を養う。
- 2 規律と礼儀を重んじ、自律的・自主的な生活態度を養う。
- 3 豊かな人間性とたくましい心身を養う。

2 本年度の経営方針

- 1 教職員の共通理解をはかり、相互の信頼に基づく協力と指導体制を強化する。
- 2 校務の責任の分担を明確にし、学校運営の効率化をはかる。
- 3 保護者に適切な情報を提供し、学校運営への理解と協力を得るよう努める。

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

A…大変良い B…普通 C…良くない

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
学校教育目標等	生徒一人一人が学校生活に充実感と達成感を感じられるような目標設定と指導がなされているか。 対応するアンケート項目 ⇒ (教) 問 1~4, 6 (保) 問 1~3, 5, 24~25	A	目標が十分達成できていると判断。引き続き生徒一人一人に寄り添う指導を継続するとともに、目標を具体的に表示する事を意識する。	A	A
	生徒・保護者に対し、必要な情報が適切に発信され、説明が十分に なされているか。 ⇒ (教) 問 5 (保) 問 4	B	感染症対策、J アラート対応、及びクマ出没情報対応のため、必要とされる情報を保護者メールと学校HPを活用して、効率的に発信できた。今後も適時の情報発信を心掛ける。	B	B
学校関係者評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> ・学校 HP が適宜更新されており、学校の動きが良く分かるよう工夫されている。 ・学校からの情報提供について、生徒・保護者とも各種通信等によりの確な伝達がされている。 ・文書の配付に関しては、生徒が保護者に渡さない場合がある。したがって、保護者メールや学校 HP による発信機会をより多くできれば良いと思う。 				
学習指導	生徒自身が積極的に、学力向上や資格取得に取り組むよう、適切な指導を行い、基礎的な学力の向上とともに、ビジネス教育の専門的知識と技術の習得がなされているか。 ⇒ (教) 問 7~8 (保) 問 6~7	B	資質・能力を身に付けるために重要となる「なぜ学ぶのか」「何を学ぶのか」などの学習の意義について考えさせる意識付けはできた。今後は、1人1台端末の活用により、個別最適な学びの実現に向けて、学習方法のさらなる工夫に努める。	B	A
	授業に対する意識を高め、学習に集中して取り組ませるとともに、指導方法を工夫してわかりやすい授業を行うとともに、必要な情報を提供しているか。 ⇒ (教) 問 9~14 (保) 問 8~12	B	日々の授業の中で、「何を」「どのように」学び、学んだことで「何ができるようになるのか」が見える指導を教員一人一人が心掛け、わかりやすい授業を行う。「ティーチングからコーチングへ」教師の意識づけを今後も継続する。	B	A
学校関係者評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> ・課題研究の学習成果発表会での生徒たちの立派な態度に感心した。継続的な指導を期待したい。 ・学習意欲について、生徒より保護者の方が良い評価をしていることに多少不安を感じた。 ・改善の方策にある学習方法の工夫による分かりやすい授業の実施、コーチングへの教師の意識付けは今後も継続することが必要である。 ・生徒にもよるが、コーチングによる自発的行動があまり進んでないように思える。 ・生徒自身が目標を持てる方向に導くことは難しい課題だが、日頃の生徒と教員の会話を多くして、生徒を大切に見守ることにより実現できると思う。 				

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
進路指導	生徒一人ひとりに明確な進路目標を持たせ、進路決定・実現をはかる適切な指導がなされているか。 ⇒(教)問15(保)問13	A	就職希望者が全て内定し、進学希望者の多くがその進路実現を果たした。引き続き、生徒一人一人についての確かな希望把握に努め、進路に対する様々なニーズに応じた指導を行う。	A	A
	生徒の個性を的確に把握し、多様な進路希望に応じた適切な情報の提供と、きめ細かな進路相談がなされているか。 ⇒(教)問16~18(保)問14~16	C	今後も、保護者・生徒が必要とする情報や求める指導の実態把握に努め、発達段階に応じた、より一層充実した進路指導に努める。 具体策として、保護者・生徒の希望を把握するために学年と分掌の連絡を密におこなう。	B	B
学校関係者評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> ・商業高校の職業指導と共に、キャリア教育における生き方・在り方について探究する取組の一層の推進を期待する。 ・進路相談への評価について、生徒と教員がほぼ同様に高い評価となっているが、保護者の評価が少し低いのは、生徒と保護者間のコミュニケーションが不足していることに原因があると感じる。 ・生徒と教員間の進路相談については、よくできている。保護者との接点が少ないので、不安を感じている保護者がいると感じる。 ・コロナ感染者が減少傾向にあるので、進路相談や保護者への情報提供の機会を増やし欲しい。 ・生徒の視点に立ち、これからのキャリア形成の全体像を示して、柔軟なプランを作成できれば良い結果になると考える。 				
生徒指導・特別活動指導	高校生らしい礼儀、マナーを意識させる指導を、共通意識をもって行うことで、生徒が集団の一員としての自覚を持ち、規律ある学校生活を過ごしているか。 ⇒(教)問19~24(保)問17~22	B	今年度改訂された「生徒指導提要」に基づき、生徒の意見に傾聴しながらも、「高校生らしい礼儀、マナー」とはどのようなものか、具体的な基準を示す。また、社会人として求められる、TPOに応じた立ち居振る舞いの定着を目指し、引き続き粘り強く取り組んでいく。	B	A
	ホームルーム、生徒会、部活動などを通して、生徒の自主性や主体性が発揮される取り組みをしているか。 ⇒(教)問25~27(保)問23	B	生徒会が中心となり、生徒が立案した計画に則り、生徒が協力しながら、感染症対策をした上で、できることから率先して行動する積極的な姿勢が見られた。今後も生徒会の意見を尊重しながら特別活動を実施していく。	B	A
学校関係者評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導の在り方が社会的に注目されていることから、引き続き研究を深められることを期待する。 ・身だしなみやスマホの利用について、生徒は「これでよし」と思っているようなので、改善点の確認をした方が良いと思う。 ・規律・身だしなみ等に対する意識について、生徒と教職員の評価が乖離しているので改善の方策通りの取組を期待する。 ・コロナ禍においても生徒会が中心となり、生徒たち自らが考え、行動できるようになっている。学校側も生徒の意見を取り入れながらアドバイスや指導をしている。 				
健康安全	安全な生活態度の育成、健康の保持・増進を促進し、環境衛生の向上がはかられているか。 ⇒(教)問2,20,22,24(保)問2,20,22	B	感染症対策における消毒が徹底され、環境衛生の向上と校内における安全で健康な生活が保たれている。今後も本校の伝統となっている挨拶や美化の維持についても、「なぜ必要なのか」を考えさせながら、生徒の意識醸成を図る。	B	A
学校関係者評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全な学校づくりに引き続き取り組むことを期待する。 ・来客に対しての挨拶については、いつ何時も感心している。今後も生徒に対して、健康・メンタルへの配慮を引き続き願います。 ・自己管理能力の評価について生徒・保護者・教員間で乖離しているのは、共通認識がされていないことが原因であると考えます。 				